

鉄文化財にみる日本の独自技術の学際的研究フォーラム 概要

(2015年4月)

<活動目的>

本フォーラムは、文化財科学、考古学、鉱山地質学、冶金学、文化人類学、分析化学などを専門とする若手研究者と企業の実務担当者らが定期的集まり、文理融合した学際研究体制により前近代から近代に至る日本の鉄文化財の原料、産地、製造方法、流通経路などの歴史情報を明らかにし、鉄に関する日本古来の独自技術について議論・解明する場とする。その技術は現代の我が国鉄鋼技術の基層をなしており、新たに得られた成果は独創的技術開発のヒントとなる場合もあるため、産業利用の可能性についても検討していく。研究成果は積極的に国内外に公表し、関連機関とも連携しながら国際的な広がりを持った研究を実施しネットワークを構築することで、鉄文化財に関する学際的研究方法の確立および研究分野の創成を目指す。

<活動内容>

平成26年度に運営委員会にて承認された4件の研究項目を中心に、学際的な研究活動とその成果発表を行う。研究会(年2回開催予定)は、学際的研究成果の発表と、成果の具体的な活用法について産学協同で検討するための場とする。また、日本鉄鋼協会大会(春季および秋季)でセッション(文化財セッションや国際セッション)も積極的に開催していく。本フォーラム活動を通じて得られた成果は、随時「ISIJ International」と「鉄と鋼」へ投稿し、将来的には国際シンポジウムの開催も視野に入れながら活動を推進していく。